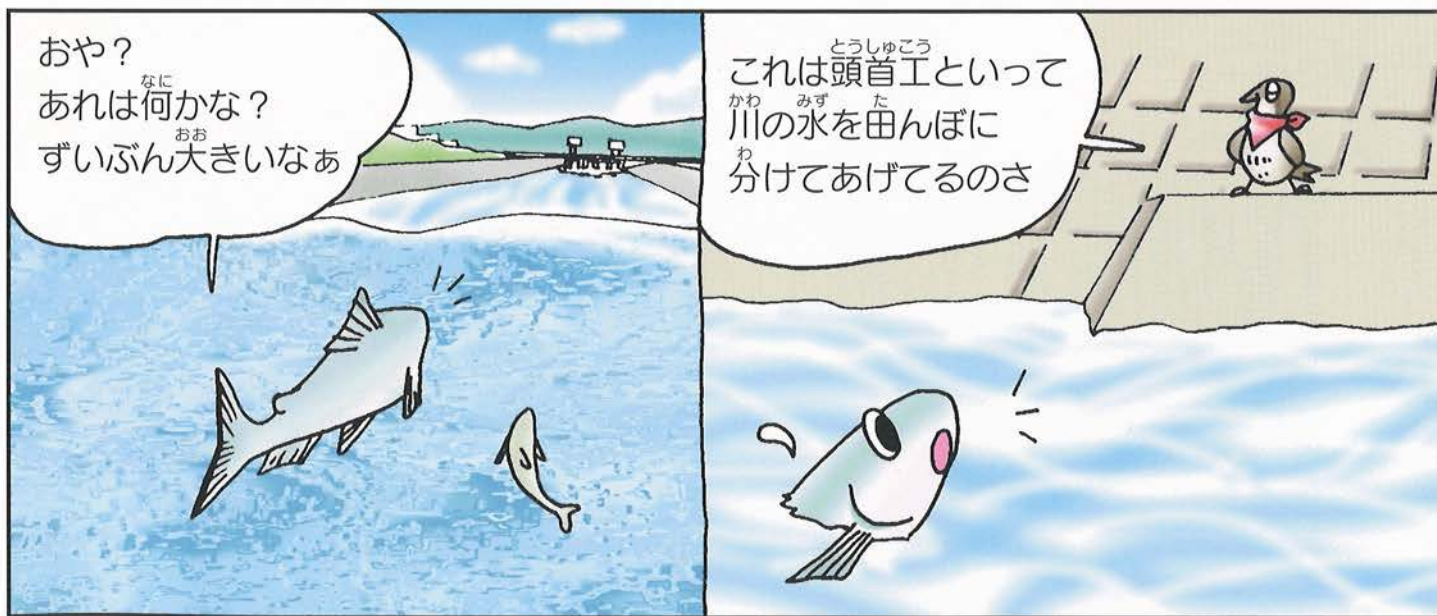
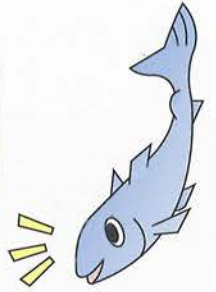


いくしゅんべつがわ みず
幾春別川の水で
 こめ そだ
お米が育つ



いくしゅんべつがわ ひろ たはた
 幾春別川のまわりに広がる田畑





かわ みず ひ
川の水はどのように引かれて
いるのだろう

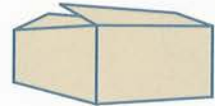


つぎのうち何をしたらいいでしょう？

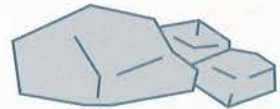
①おがくず



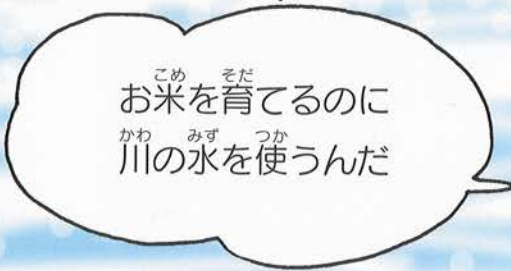
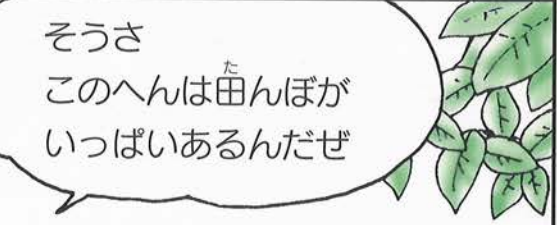
②ダンボール



③石

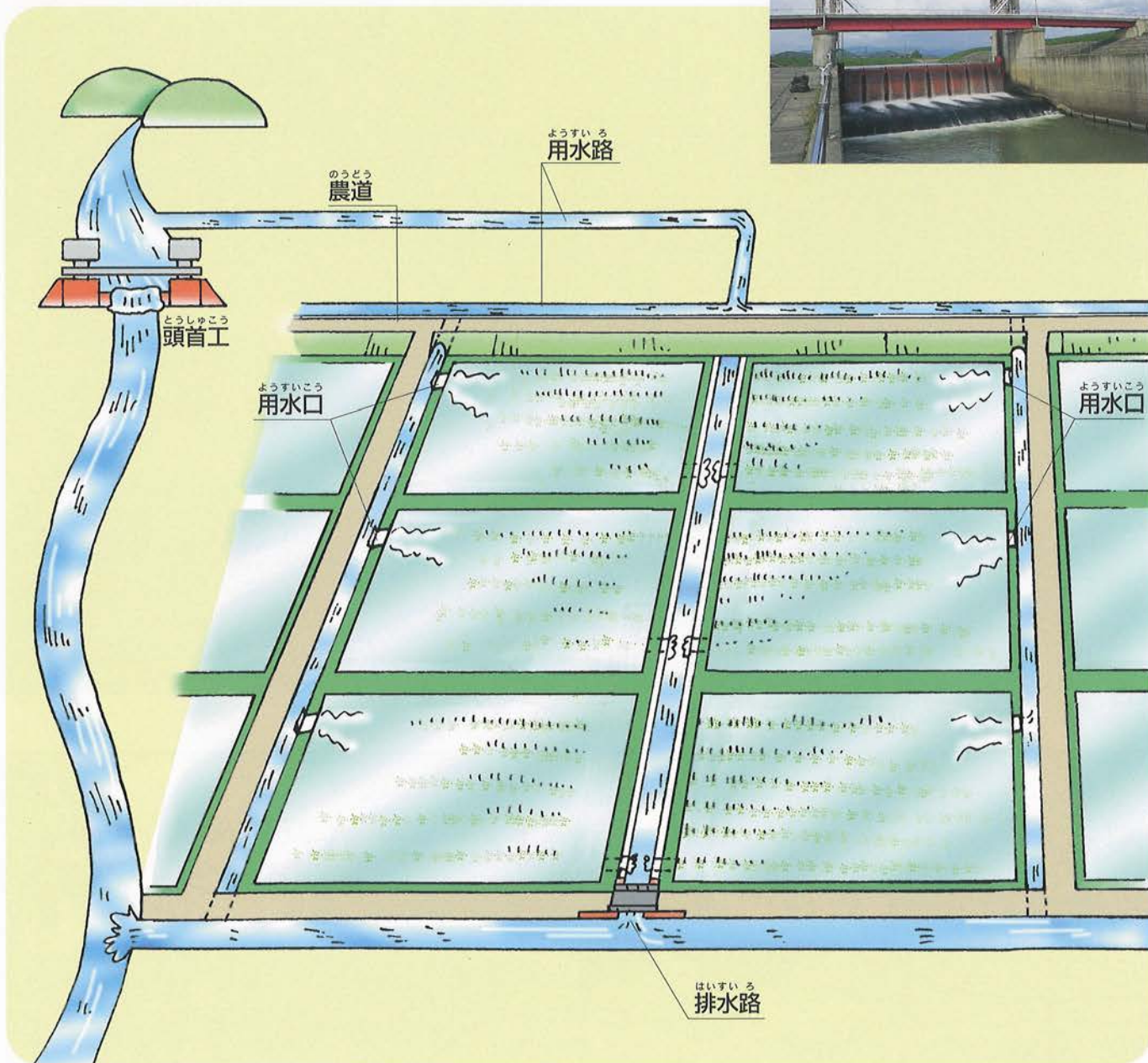


答えは次のページ



古くから日本人の主食の米は田で栽培され、たくさんの水を必要とし、その水は川から取り入れられてきました。頭首工は、川の水が少ないときに川の流れをせき止めて、田や畑に水を取り入れやすくします。そしてあまった水は、排水ポンプに集められ、川に戻されます。

頭首工のはたらき



前のページの答：③石

おがくずやダンボールではすぐ流されやすく、石は重くせき止められる。

かわ 川 ^{よく} 川 ^{すいでん} 川 ^{ようすいろ} 川
 川 ^{よく} 川 ^{すいでん} 川 ^{ようすいろ} 川
 川 ^{よく} 川 ^{すいでん} 川 ^{ようすいろ} 川



田に水を運ぶ用水路と分水装置



田植えが終わった田のようす

そだ ^{こめ} 育てられたお米はみんなの食卓へ ^{しょくたく}



田植え



5月



7月



9月



稲刈り

